

## Program

---

- ◆10日(日) 受付、オリエンテーション、個人チューター紹介  
チェックイン(大山寮・大塚宿舎)、発表準備
- ◆11日(月) 震災関連学外イベント(日比谷公園 震災イベント他)
- ◆12日(火) <企画1> 世界8大学合同国際フォーラム  
テーマ「世界のエネルギー・環境問題を考える：東日本大震災を教訓に」

研究発表 I部 テレビ会議 (人間文化創成科学研究科棟 508号)

14:30~16:00 発表1 オタゴ大学(ニュージーランド)

発表2 モナシュ大学(オーストラリア)

※センター試験のため13:00以降しか入構できません。

☆18:00~ ウェルカムパーティ(場所 お茶の水女子大学 国際学生宿舎(大山寮))

### ◆13日(水)

研究発表 II部 8大学発表(共通講義棟2号館102号)

10:00 開会の辞 森山 新(お茶の水女子大学 グローバル教育センター長)

10:10~12:10 お茶の水女子大学(日本)

発表1 原発事故後の日本の取り組みと提言

軽部美咲、岩田明子、三次好華、李 孝婷 page.9

発表2 フクシマの反省 原発に強くなるために

朴惠仁、鐘慧盈、林沙樹、西岡玲奈、永田祥 page.14

発表3 原発の輸出入における影響

遠藤美里、池田亜柊、笠智遥、ディスタン・スザンヌ page.19

発表4 これからの日本ー3つのシナリオー

進藤 美沙、馬淵 茉衣、三谷 菜穂美 page.24

(昼休み)

- 13:00～ チェコとスロバキアは原発維持 カレル大学 (チェコ)  
 ノヴォトナー・マルケータ、コヴァーチョヴァー・ペトラ page.33
- 13:30～ 世界エネルギー問題・福島後 -ポーランド人の原子力発電に関する態度と  
 代替エネルギーのすすめ- ワルシャワ大学 (ポーランド)  
 ダグマラ・ポモルスカ、アガタ・ロシニスカ page.37
- 14:00～ アメリカの意見：福島原発災害後のエネルギー政策  
 ヴァッサー大学(アメリカ)  
 ロスマン・ヘイリー、グローブス・みほ page.41

(休憩)

- 14:45～ ドイツのエネルギーシフト -可能性と問題点- ボン大学(ドイツ)  
 アルプス・チェルシー、トカレフ・アレックス page.47
- 15:15～ タイと原発 チェンマイ学 (タイ)  
 ティティマー・ターラー、プロイチョンプー・ピンデューセニー page.53
- 15:45～ 脱原発社会を目指す 大連理工大学 (中国)  
 王 穎、朱 一平 page.57

(休憩)

- 16:30～ これからのエネルギー政策への提言  
 -新エネルギーとコミュニケーションから- 釜山外国語大学(韓国)  
 イ・ヒョンホ、イ・ジョンビン page.61
- 17:00～ Nuclear Illusion? - The Future of Nuclear Energy お茶の水女子大学 (日本)  
 発表1 Does nuclear energy make sense?- An evaluation of nuclear power  
 in light of Micheal Sandel's "Justice"  
 発表2 Does "centralised" nuclear energy make sense?  
 Saito Misaki, Yagishita Akari page.65

17:30～18:00 総評

各大学 先生方

森山 新 (お茶の水女子大学 グローバル教育センター長)

18:00 閉会の辞 森山 新 (お茶の水女子大学 グローバル教育センター長)

◆14日(木)《企画2》 セミナー (共通講義棟2号館102号)

「東日本大震災ワークショップ・シンポジウム」

I部(10:00~12:00):ワークショップ「被災体験の聞き取りから

—地域研究(陸前高田)実習参加学生の報告」

内容:グローバル文化学環「地域研究実習Ⅱ」(震災復興支援)の報告

10:00~ 開会の挨拶/陸前高田実習説明 熊谷 圭知(グローバル文化学環教授)

10:10~ 報告1 震災当日の体験、津波からどう逃れたか

米田美香、泉有香、遠藤美里、松村千汎

10:25~ 報告2 震災翌日以降の体験

三次好華、宿沢麻利子、高橋梨紗

10:40~ 報告3 避難所の体験

鈴木杏菜、鈴木美穂、木村悠

10:55~ 報告4 仮設住宅の暮らし

石川しほみ、山口真紀子、勝田美咲、菊池彩花

11:10~ 報告5 震災の教訓、伝えたいことなど

岩永紗弥、濱中麻梨菜、東福こと子

11:30~ フロアからのコメント/討論

(昼休み)

II部(13:00~17:30):シンポジウム「震災の体験から考え、行動し、発信する」

内容:被災者による講演会と討論

13:30~ 開会の挨拶

小林 誠(グローバル文化学環教授)

13:35~ 陸前高田実習の概要と成果

熊谷 圭知(グローバル文化学環教授)

14:00~ フォトボイス・プロジェクト「女性たちが見た/経験した東日本大震災」

伊藤 エミ子(岩手県宮古市)

佐藤 みえ子(宮城県仙台市)

横田 京子(福島県郡山市)

(休憩)

15:10~ 村上 力男「気仙沼市~繁栄する商店街の創造に挑戦」

(宮城県気仙沼市・気仙沼あさひ館)

16:00~ 田村 満「陸前高田をどう考えるか~震災から未来へ」

(岩手県陸前高田市・陸前高田ドライビング・スクール)

16:50~17:30 総括討論

◆15日(金) 《企画3》 国際シンポジウム (共通講義棟2号館102号)

テーマ「グローバル時代の日本語教育を考える」

【基調講演】

10:00~11:00 グローバル時代の日本語教育・異文化理解教育

森山 新(お茶の水女子大学 日本) page.67

【パネルディスカッション】

I部 各国の現状報告

11:00~11:20 韓国の日本語教育における新たな試み

—J-GAPとディベート大会をもとに—

諏訪 昭宏(釜山外国語大学 韓国) page.79

11:20~11:40 転換期を迎えた日本語教育の挑戦—中国理工系大学の取り組み—

王 冲(大連理工大学 中国) page.85

11:40~12:00 日本語教育から日本研究へ

—タイにおける日本語教育の歴史と課題—

中井仙丈(チェンマイ大学 タイ) page.89

( 昼休み )

13:20~13:40 進化する日本語教育に対する試み—ワルシャワ大学日本学科の場合—

岡崎恒夫(ワルシャワ大学 ポーランド)、佐野香織(お茶の水女子大学) page.93

13:40~14:00 グローバル時代の日本語教育—カレル大学における日本語教育—

金杉ペトラ(カレル大学 チェコ) page.99

14:00~14:20 日本語教育と「外からの目・内からの目」—ドイツ・ボン大学の場合—

吉岡薫(ボン大学 ドイツ) page.105

14:20~14:40 文化理解教育に向けた考察—ポピュラーカルチャーの授業を通して—

ドラージ土屋浩美(ヴァッサー大学 アメリカ) page.111

( 休憩 )

II部

15:00~17:00 全体討論

17:00 大会閉会挨拶

森山 新(お茶の水女子大学グローバル教育センター長)

☆18:00~ フェアウェルパーティ (マルシェ)

◆16日(土) 東京ツアー

◆17日(日) 次回以降の打ち合わせ、チェックアウト